

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	地域高規格道路 <small>おおず やわたはま</small> 大洲・八幡浜自動車道 一般国道197号 <small>やわたはま</small> 八幡浜道路	事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県八幡浜市郷 <small>やわたはま 郷</small> 至：愛媛県八幡浜市大平 <small>やわたはま おおひら</small>	延長	3.8km		
事業概要 一般国道197号「八幡浜道路」は、地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」の一部区間として、高速道路と一体となった広域ネットワークを形成することにより、地域産業である農林水産業の支援、観光地へのアクセス向上、円滑な救急医療搬送、災害時における緊急輸送道路を確保するとともに、八幡浜市の中心市街地を迂回し市内の慢性的な渋滞の緩和を図ることを目的とした延長3.8kmのバイパス事業である。					
H17年度事業化	H一年度都市計画決定	H17年度用地着手	H19年度工事着手		
全体事業費	約201億円	事業進捗率	約56%	供用済延長	0km
計画交通量	6,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/事業全体		総便益 (残事業)/事業全体	
	0.58	59/205億円 (事業費：59/205億円 維持管理費：0.3/0.3億円)		120/120億円 (走行時間短縮便益：90/90 億円 走行経費減少便益：21/21 億円 交通事故減少便益：8/8 億円)	
	2.0 (残事業)			基準年：平成29年	
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=0.49~0.68 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.7~2.4 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=0.57~0.60 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.8~2.2 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=0.56~0.61 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.1 (事業期間±20%)					
事業の効果等 ①大規模災害への備え 第1次緊急輸送道路に指定されている国道197号の道路ネットワークの多重性、耐災性が確保されるとともに、四国縦貫・横断自動車道と一体となった広域避難・救援ルートが構築される。 ②慢性的な渋滞の緩和 現道における中心市街地の主要渋滞箇所の解消及び慢性的な渋滞を緩和することにより、地域の社会経済活動の生産性、利便性の向上が期待される。 ③広域物流・観光ルートの機能強化 九州～四国～京阪神を結ぶ広域高速ネットワークの形成により、広域物流・観光ルートの機能が向上する。 ④広域救急医療活動への支援 第二次救急医療施設（大洲市）や第三次救急医療施設（松山市、宇和島市）への搬送時間の短縮により、八幡浜圏域における救命率の向上が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見 ・国道197号（大洲・八幡浜・西宇和間）地域高規格道路建設促進期成同盟会による事業促進の強い要望がある。					
事業評価監視委員会の意見 ・平成29年度愛媛県公共事業評価委員会（平成29年9月19日）において審議の結果、「事業継続」との意見が知事に報告された。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成24年3月 四国横断自動車道（宇和島北～西予宇和IC）が開通（暫定2車線） ・平成25年3月 一般国道197号「名坂道路」が開通（暫定2車線） ・平成27年3月 宇和島道路（津島岩松～宇和島北IC）が開通					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率約97%、事業進捗率約56%（平成29年3月末時点）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地の取得を継続するとともに、早期の開通を目指し、改良工事を推進していく。					

施設の構造や工法の変更等

- ・ 今後も工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

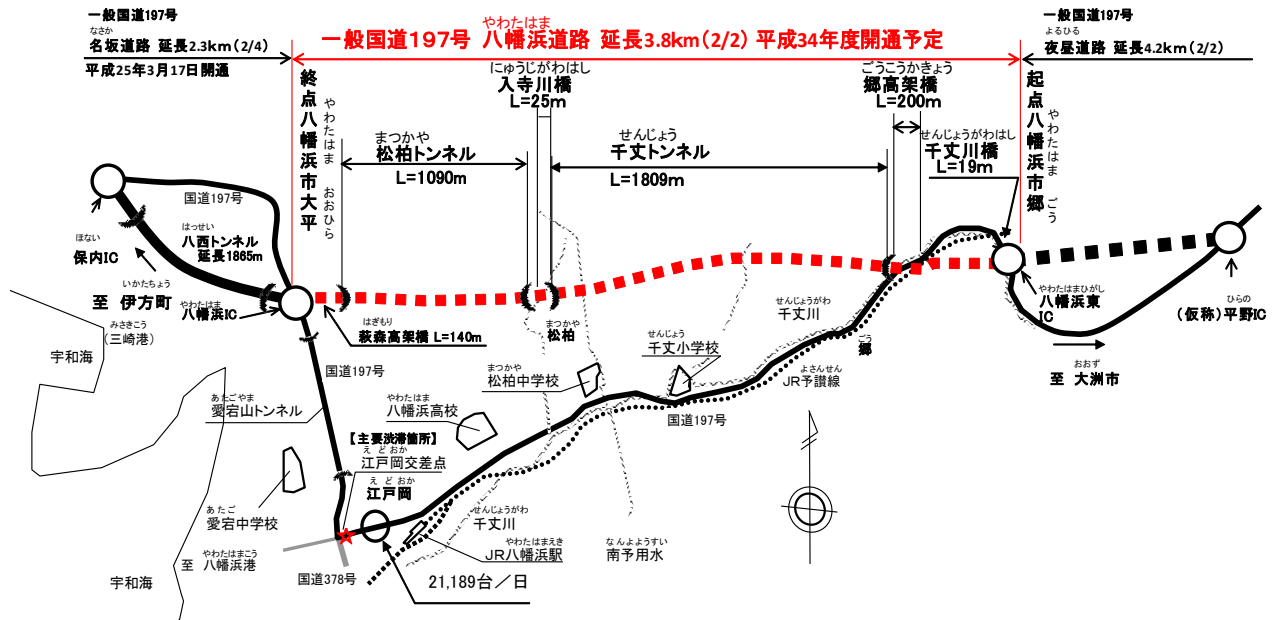
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・ 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。